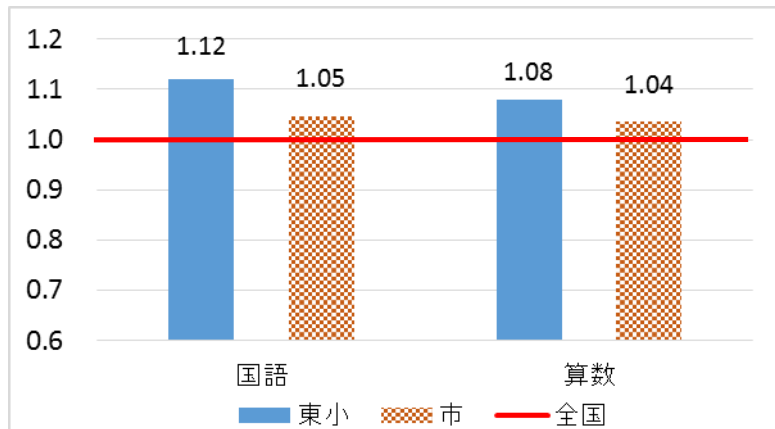


令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第一中学校区 東小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【国語】

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）の領域において、全国平均を上回った。「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける」力や、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」力については、引き続き、より高めていけるように工夫していく。

【算数】

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全領域において全国平均を上回った。特に、「棒グラフの数量を読み取る」問題は正答率100%であった。しかし、「図形」領域については、全国平均同様に他領域と比べてやや低く、復習や授業での確実な定着をめざし、工夫していく。

【質問紙調査】

「人の役に立つ人間になりたい」と肯定的に答えた児童は全国平均を上回り、「自分には、よいところがあると思う」と肯定的に回答した児童の割合にも増加傾向が見られた。「学校に行くのは楽しい」と肯定的に答えた児童も全国平均を上回っている。授業や行事毎にめあてを示し取り組ませてきており、児童が自己の成長と改善点を見出し、次の目標に向けて前向きに取り組んだ結果だと考える。

○学力向上の取組

【中学校区】

第一中学校区「街の学校スクールネットワーク」として、「授業改善」をテーマに授業力向上のための「聴いて、考えて、つなげる」授業の授業実践に取り組んでいる。具体的には発達段階に応じた「あたたかい聴き方」と「やさしい話し方」のスキルアップを目標にしており、「ノート指導」を中心とした「書く力」の育成にも努めている。

【学校】

基礎基本の知識技能の定着の徹底を図るため、宿題や自主学習ノートの指導に力を入れている。授業では、「あたたかな聴き方」「やさしい話し方」について、学齢に応じて系統的に指導してきており、自分の考えを持ち、わかりやすく仲間に伝えられる力を伸ばす授業をめざして取り組んでいる。